

馬込東中学校改築の基本構想に向けた考え方

1 改築にかかるコンセプトについて

改築にあたっては、教育委員会として学校や地域の特色を活かし、地域とともにある学校づくりを目指している。

馬込東中学校は「夢と希望を持って、未来を拓く生徒を育成する」ことを教育目標として掲げ、少人数、習熟度授業（数学・英語）の実施や、人権学習による規範意識の向上、地域ぐるみの環境教育を推進してきた特色がある。また、特色ある教育活動として、修学旅行の際、横断幕の横文字で、新幹線で京都に向かう3年生に対して在校生が屋上よりエールを送る、「修学旅行見送り隊」や、ユネスコスクール加盟校として地域清掃や地域でのアルミ缶回収活動等を実施してきた。

一方で、その敷地は道路によって東西に2分割されており、敷地内及び周囲とも高低差があるほか、近隣と密接した多数の擁壁があり、敷地の一部は土砂災害警戒区域に指定されている。また、区内の中学校で一番狭小な校庭の一部は人工地盤になっており、その下には旧校舎及び旧擁壁が埋まっている等、大田区の学校の中でも随一の改築困難校である。

このような困難な条件下において、運動教育等のために必要な十分なスペースの確保や、多様な生徒の学びの場となる多機能型の教育環境の整備を検討すると共に、改築工事の実現に向けた、具体的な工事手法の検討を実施する。

以上のような学校や地域の特色等を活かした馬込東中学校の改築に係るコンセプト及び具体的な改築手法を基本構想の中で検討し決めていく。

■ 改築事業予定

時期	内容
令和7年11月～ 令和8年3月	プロポーザル実施期間（3月に事業者決定）
令和8年3月～ ～令和9年3月	基本構想 ・改築コンセプト及び施設整備方針の検討 ・改築手法に関する方向性の検討 ・改築の発注方式の検討 など
令和9年度	・基本構想の地域等への説明 ・擁壁工事に関する調査、近隣調整 ・改築手法の決定及び業者選定 など

※今後実施する検討、各種調査等により予定が変更となる場合がある。

2 複合化の可否について

学校施設の複合化について教育委員会としては、「大田区学校施設の整備方針及び学校施設における複合化の考え方」を示している。この中では、「学校施設における複合化については、敷地が学校用地であることを踏まえ、学校施設として必要な敷地を確保した上でなお、その他の施設を建設可能な余剰がある場合に検討する」としている。

本事業においては学校用途外の施設を整備することは空間的に困難であり、教育環境の維持の必要性から複合化は行わないこととする。

3 改築手法

改築手法の検討に当たり、無人改築の実施可否について検証したところ、無人改築に適した敷地が近隣には無いため、馬込東中学校の改築については自校内に仮校舎を設置する等の手法である居ながら改築を基本として想定し検討を進める。

なお、前述したとおり馬込東中学校は、その敷地条件に多数の課題があることから、改築の実現に向けて、その工程や工法、本事業の適切な発注方式を含めた詳細な検討を行い、今後必要な調整や想定工期、概算工事費等について明らかにする。

その他、工期短縮や円滑な工事实施に向けた改築手法等に関する、検討・提案を行うこと。

4 その他の要件

(1) 分割敷地の取扱い

敷地が東西に分割されているため、それぞれの敷地から道路を渡らずに容易に往来できる手法について検討すること。

(2) 土砂災害警戒区域の取扱い

敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定されているため、学校利用者及び近隣住人の安全確保のため、改築に合わせて土砂災害警戒区域の指定解除のための工事实施について検討すること。

(3) 環境配慮に関する基本的事項

脱炭素社会の実現に向けた環境負荷低減の取り組みとして、ZEB Ready 以上の基準を目指す。

(4) 改築に関する検討資料等まとめ

馬込東中学校の改築に向けて、区で実施してきた検討に関する資料等を取りまとめ、改築手法の検討と合わせて整理する。